各 位

会社名 株式会社 インソース
 代表者名 代表取締役 執行役員社長 舟橋 孝之
 (コード番号：6200 東証マザーズ)

2017年2月 インソース新作研修のお知らせ

～働き方改革（生産性向上・AI）、イノベーションなど時代の変化を先取りする研修
 15分野 25本をいち早くリリース

「働くを楽しくする」サービスを提供する株式会社インソース（本社：東京都千代田区、代表取締役執行役員社長：舟橋孝之、証券コード：6200、以下「当社」）は、2月に15分野計25本の新作研修をリリースしましたので、お知らせします。

◇「時代の変化を先取りするインソースの新作研修」とは◇

当社は、お客さまのニーズを先取りする研修を最速で開発することをミッションとしております。2月には、リーダーの生産性向上やAIを活用した「働き方改革（生産性向上・AI）分野」研修、ラテラルシンキングやAIを用いて新しいものを生み出す「イノベーション」研修、そして自組織で活躍できる人材を採用し、ミスマッチを防ぐ「採用関連分野」研修等を開発しました。社会人研修の最新動向をご覧ください。

◇2017年2月 新作研修

働き方改革（生産性向上・AI）分野	5本	管理職向け分野	1本
イノベーション分野	2本	評価者分野	1本
キャリア分野	2本	新人・若手向け分野	1本
ホスピタリティ分野	2本	営業分野	1本
プレゼンテーション分野	2本	ハラスメント分野	1本
リスクマネジメント分野	2本	クレーム対応分野	1本
ダイバーシティ分野	2本	〇JT関連分野	1本
採用関連分野	1本		

<働き方改革（生産性向上・AI）分野>個人・リーダーの生産性向上、短時間勤務、AI

労働人口の減少に伴い、労働生産性の向上や子育て・介護と仕事の両立といった「働き方改革」に社会全体として取り組む必要が出てきました。当社では、この「働き方改革」に対し、様々な角度から焦点を当てた研修を開発いたしました。

①個人の生産性をあげる

他社事例の問題点・改善点を考えたうえで、自社でどのように生産性をあげていくかを具体的に考えていただきます。

■業務改善研修 変化に対応し、働き方改革を実現する

<http://www.insource.co.jp/gyoumukaizen/hatarakikataikaiku.html>

■【公開講座】業務改善研修～変化に対応し、働き方改革を実現する

http://www.insource.co.jp/bup/bup_gyomukaizen_hatarakikata.html

②リーダーとして、チーム全体の生産性をあげる

限られた時間内でチーム全体の生産性をあげるためには、リーダーがいかに業務配分を間違わずに采配をふるうことができるかが重要です。本研修では、自部署のメンバーの能力に合わせて、どのような仕事を割り振るかを具体的に考えていただきます。

■働き方改革リーダー研修 チームの時間管理で残業削減・生産性向上

http://www.insource.co.jp/kenshu/change_how_one_works-timemanagement.html

③短時間勤務での働き方を考える

短時間で成果を出せる人材になるためには、「プランニング」、「コミュニケーション」、そして「仕事の見える化」が重要です。本研修は、その要点を凝縮し半日間で学んでいただきます。

■短時間で成果を出す仕事の進め方研修（半日間）

http://www.insource.co.jp/shinjin/sh_shigotonosusumekata_tanjikan.html

④人工知能を活用して生産性をあげる

生産性向上のため、オフィスワークにおいて人工知能（AI）が普及することが予想されます。本研修では、機械学習分野で使われる頻度の高いPython言語の基本文法とその実践方法を学んでいただきます。

■Pythonで学ぶ機械学習～回帰分析とディープラーニング（2日間）

http://www.insource.co.jp/bup/bup_python_kikaigakushu.html

<イノベーション分野>ラテラルシンキング、AI

移り変わりの激しい現代においては、前例踏襲ではなく常に新しいものを生み出していくことが求められます。当社では新しいものを生み出す発想力を高めていただくため、「ラテラルシンキング」と「人工知能（AI）」という2種類の方法を使った研修を開発いたしました。

■ラテラルシンキング研修～新たな発想を生み出す力を養う

http://www.insource.co.jp/bup/bup_lateral-thinking.html

■イノベーション創造ワークショップ（人工知能×ものづくり研修）（2日間）

http://www.insource.co.jp/bup/bup_ai-createtraining.html

<採用関連分野>ミスマッチの防止

ミスマッチによって新入社員が早期退職してしまうと、労力をかけて行った採用活動が無意味なものとなってしまう、組織に大きな損失を与えてしまいます。また、一般的に見ると優秀な人材であっても、自組織で活躍するとは限りません。

当社では、自組織で活躍できる人材を「ビジネス思考力テスト」を用いて冷静に判断し、採用のミスマッチを防ぐためのノウハウを学ぶ研修を開発いたしました。

■採用企画担当者レベルアップ研修～「ビジネス思考力テスト」で活躍人材を獲得する

http://www.insource.co.jp/bup/bup_personnel-level-up.html

<キャリア分野>

- キャリアデザイン研修 1年を振り返り、次の1年を考える編（半日間）

<http://www.insource.co.jp/kenshu/ke-career-next-1year.html>

- 女性向けキャリアデザイン研修 自分の人生を主体的に現実的に考える（半日間）

http://www.insource.co.jp/kenshu/career_wakate.html

<ホスピタリティ分野>

- 店舗・現場販売員向け お客さま対応力向上研修

http://www.insource.co.jp/setsugu/setsugu_cs_tenpo.html

- お客さま対応スキル向上研修 対面での接客プロを目指す編（半日間×5回）

<http://www.insource.co.jp/setsugu/face-to-face.html>

<プレゼンテーション分野>

- 【2017リニューアル】プレゼンテーション研修

http://www.insource.co.jp/kenshu/ke_presen_rinaru.html

- プレゼンテーション研修 刺さる提案力強化編（1日間）

<http://www.insource.co.jp/kenshu/ke-presen-conceptual.html>

<リスクマネジメント分野>

- 大学向けリスクマネジメント研修 SNSを理解し、トラブルを防ぐ

http://www.insource.co.jp/kanrisyoku/sns_riskmanagement.html

- 独立行政法人向け 個人情報保護研修

<http://www.insource.co.jp/kenshu/protectionlow-independent-administrative-agency.html>

<ダイバーシティ分野>

- ダイバーシティ時代の管理職研修（1日間）

<http://www.insource.co.jp/kanrisyoku/diversity-management.html>

- LGBTが活躍できる組織づくり研修 「制度整備」と「風土構築」編（3時間）

<http://www.insource.co.jp/kanrisyoku/lgbt-elementary.html>

<管理職向け分野>

- 決断力向上研修 管理職として組織を動かす編（1日間）

<http://www.insource.co.jp/kanrisyoku/power-of-determination.html>

<評価者分野>

- 評価者研修（3時間）

<http://www.insource.co.jp/hyoukasha/3hours.html>

<新人・若手向け分野>

- 5年目向け（若手リーダー向け）コミュニケーション研修

<http://www.insource.co.jp/wakate/5nenme-communication.html>

<営業分野>

■営業基礎研修～営業の仕組みを知り、営業活動プロセスを学ぶ（1日間）

<http://www.insource.co.jp/sales/eigyokiso.html>

<ハラスメント分野>

■パワーハラスメント研修 統計と裁判事例をふまえて部下指導を考える編（1日間）

<http://www.insource.co.jp/kanrikyoku/harassment-subordinate-communication.html>

<クレーム対応分野>

■【2017リニューアル】クレーム対応研修

http://www.insource.co.jp/claim/cl_rinaru.html

<OJT関連分野>

■（上司・先輩向け）新人・若手のホウ・レン・ソウ強化研修

http://www.insource.co.jp/shinjin/newcomer_hourensou-kyoka.html

以 上

【お問合せ先】

株式会社インソース

<http://www.insource.co.jp/index.html>

（取材・広報に関して）

総務広報部（川邊、石川）

TEL:03-5259-0070

（研修・テキストに関して）

デジタルマーケティンググループ

TEL:0120-800-225